


俺の妹  
萌子

髪はいつもボサボサ  
部屋着はジャージー扱  
鬱陶しい前髪で  
だいたい顔は見えない

夏休みだと言うのに  
家に引きこもって  
パソコンばかりいじってる

はつきり言って名前負けも良いところ  
萌る要素は一個もない





ちようど俺が風呂から上がると  
入れ替わりで萌子が風呂へ向かう

萌子がきてるジャージ  
確か俺の高校の時のお下がりだったはず  
兄貴のジャージずっと着てるのイヤじゃねえのかね

尻だけパンパンじゃないか

ん…？

萌子の部屋の扉が少し開いていたので  
なんとなく覗いてみると  
つけっぱなしのPCになにやら書きかけの  
メモ帳…

そこには俺と妹の  
エロい行為が綴られていた

マジか…これ  
俺との妄想日記…？

あの色気のカケラもない  
ダサ地味の萌子が…？

それになんだ  
この兄妹ものの  
エロ本…

とんだむつつりすけべじゃねえか

おっおっ  
お兄ちゃんっ  
なななにしているの？

なにこれおまえ  
おまえ俺とこんなこと  
したかったのかよ

キゅっ

え...?  
図星??

あ...ああああ  
あのね...あ...

さすがに  
実の妹は...



おい…?  
なに脱いでんだよ

つてかジャージの下裸かよ!

胸の谷間が見える…  
かなりデカイ  
おいおいおまえ…  
デカイのは尻だけじゃなかったのか

じゅ

俺を見つめる萌子  
いつもうっとおしい前髪で  
隠れている顔が見える

こいつの顔久しぶりに見たけど  
まあブスじゃないな…  
というか結構かわいい…?

それよりなんでそんな目で  
見つめてくるんだ

まさか…

あっあっあのねっ

わわわわたし!!  
お兄ちゃんとせっせっせっせつくすが  
したいの!!!

まじかー！...



そういうと萌子は  
その大きな胸を俺の前に晒した

顔真っ赤じゃん  
なんか汗かいてるし

おまえのそんな顔初めてみたぜ…

お：お兄ちゃんに  
おっぱい見せちゃった…  
ドドドドどうしようっ

勢いで：言っちゃった…  
あああ恥ずかしいよお

どうしようどうしよう…  
引かれたかな…?  
どうしよう…





おとおお兄ちゃんが!!  
触ってるううううう!!

ひっ

おやお

でけえ

でけえ

でけえ...  
思わず掴んじまった...  
いつもぶかぶかのジャージで  
わからんかったが...  
こんなエロい胸してたのかよこいつ...

萌子のやつめっちゃ汗かいてるし  
息荒いんだけど

え？  
掴んだだけなのに  
感じてんのか…？

お兄ちゃんが私のおっぱい  
揉んでる…

どどどどうしよう…  
夢みたい…気持ちいいよお…

あっあそこ濡れてる……



あつ

あつ

あつ

ダメ…ダメ…  
あそこむずむずする…  
我慢できない…

気持ちいい…  
気持ちいいよお  
おっぱい気持ちいい…  
お兄ちゃんの手…  
ごつごつの手…

もう…ダメ…ダメ…  
イク…イク…

ガク ガク

じわあぁ

え…  
まさかイってる？

こいつ…エロくね？  
ほんとに俺とエロいこと  
したかったんだな

股の部分の色が変わっていて  
一瞬漏らしたのかと思ったが  
…胸だけで濡れすぎだろ





おまんこ触つてえええ

今まで意識もしてなかった妹の  
こんな姿を見せられ  
お願いされて  
俺の息子も反応してしまった…

おっ  
お兄ちゃん…っ  
お願い…  
さっ…触つてえ…

ゲキョ

お腹の奥がむずむずして…  
ダメ…ダメ…ダメ…  
我慢できない  
おかしくなっちゃう

あつ  
萌子の反応がエロくて  
しばらく胸を揉んでいると  
ズボンに手を突っ込んで  
自分でいじり始めた

無意識なのか  
グチャグチャ凄いい音をたててる

あつ

ゲキョ  
ゲキョ

ゲキョ

ゲキョ



おいおい…マジで  
このエロい女が  
あの萌子なのか？

上着だけを羽織って横たわる萌子は  
思った以上にエロい体をしていた

おまんこからとめどなく  
マン汁が垂れている

お兄ちゃんがみてる  
わたしの体見てる…

ドキドキ凄…

早く…早く触って…

トクナオ…



萌子のおまんこは  
びっくりするほど  
グチャグチャに濡れて  
指2本  
すんなりと入った

は…入ってきた…  
お兄ちゃんの指が…  
硬くてごっごっの指があ…

んっ…

んっ

ぐちゃっ…



動いてる！動いてる！  
中で動いてるよお！！

想像より凄い…  
お兄ちゃんの指…っ  
こんな気持ちいいの…っ

想像してオナニーしたより  
ずっとずっと凄い…

気持ちい…あっ  
お兄ちゃんのゆび…  
気持ち…い…あん  
あっ…ああん

うわ…汁がすげえ…  
タオルとか敷いてないけど大丈夫かこれ…

アッ

ちゅっ  
ちゅっ  
ちゅっ

アッ



凄い音...白い汁出てきた  
本気汁ってやつか...

ガク

ガク  
ガク

はっ...  
はっ

はっ  
はっ

はっ  
はっ

ガク

ぐちゅ  
ぐちゅ

ぐちゅ  
ぐちゅ

ぐちゅ  
ぐちゅ

ぐちゅ  
ぐちゅ

あ...  
イク...イク...  
イク...っ  
いつちやう...

ん...!

おっ  
お兄ちゃんっ  
いつちやう  
いつちやう  
いつちやう

イク...う...う...  
イク...う...う...

絶頂した萌子の全身は  
赤く染まり汗でびしょびしょに  
濡れていた

まんこからは白濁マン汁が  
大量に流れ出て

めちゃくちゃエロい…  
正直今まで付き合っただ中でも  
こんなエロい女は初めてだ

こんな身近に  
こんなとすけべ女がいたなんて

妹だっていうのに  
もったいねえ事したな…  
なんて思ってしまった

トク…

妹とセックスする事に  
不思議と罪悪感も嫌悪感もなく

俺のチンコは痛いぐらいに勃起して

とにかく今この目に前にいる  
エロい女のグチャグチャに濡れた穴に  
突っ込みたくてたまらなかった





おっ  
おっ

おチンチン…

お兄ちゃんのおチンチン…っ

ずっと想像してた…  
お兄ちゃんのおチンチンが…っ

どうしてそんなに  
おっきくなってるの

わっわたしに  
入れたいの？

わたしのおまんこに  
入れたくて  
そんなになって  
くれるの？



お兄ちゃんわたしとせつくす...  
してくれるの？

嫌じゃないの？

ほんとに？  
ほんとに？

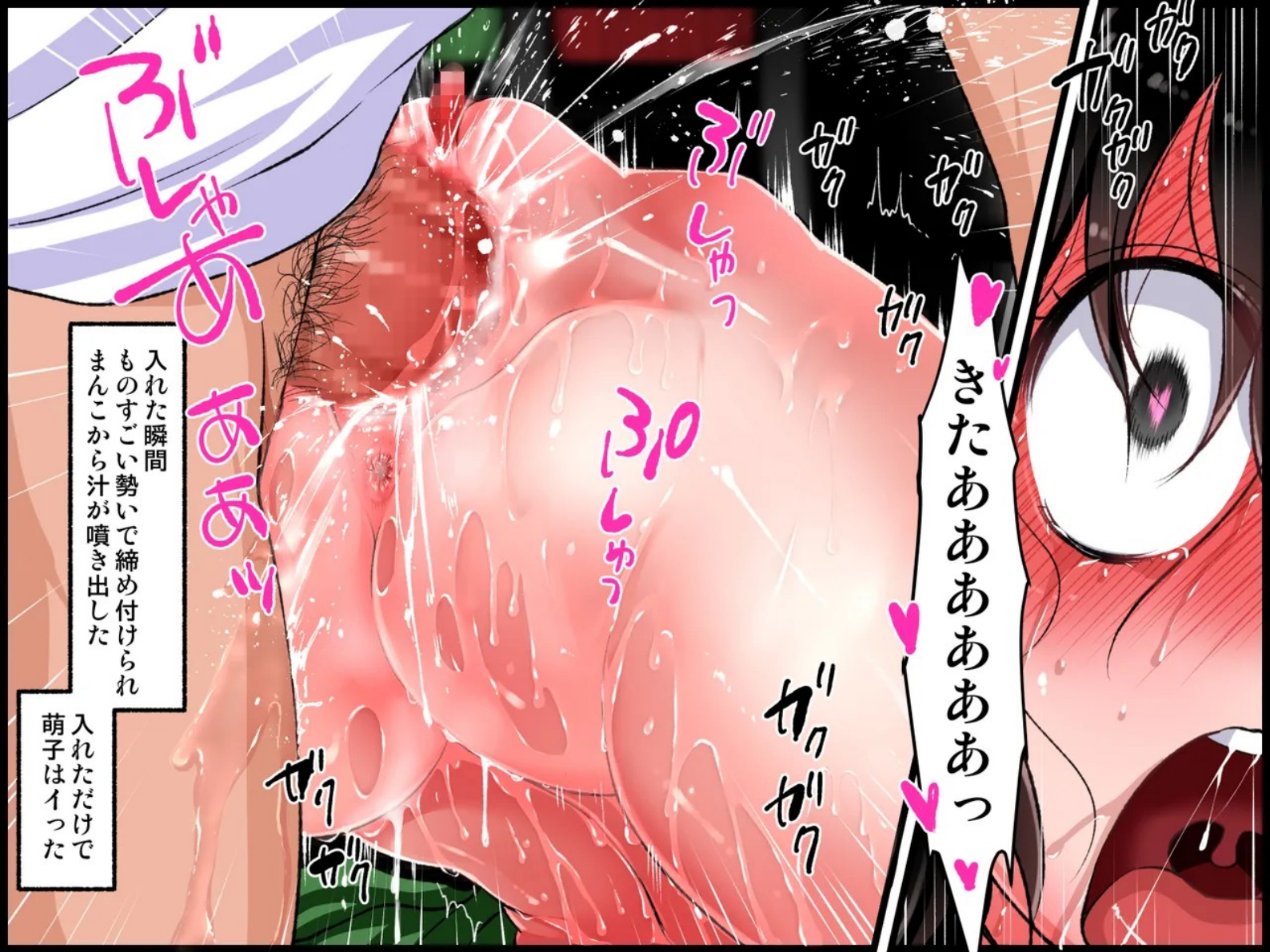
ほんとに？

あつあつあつ  
入ってくる...  
お兄ちゃんのお  
チンチンがつ

わたしの  
おっおまんこにつ

入って...

びびりゃん



あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー

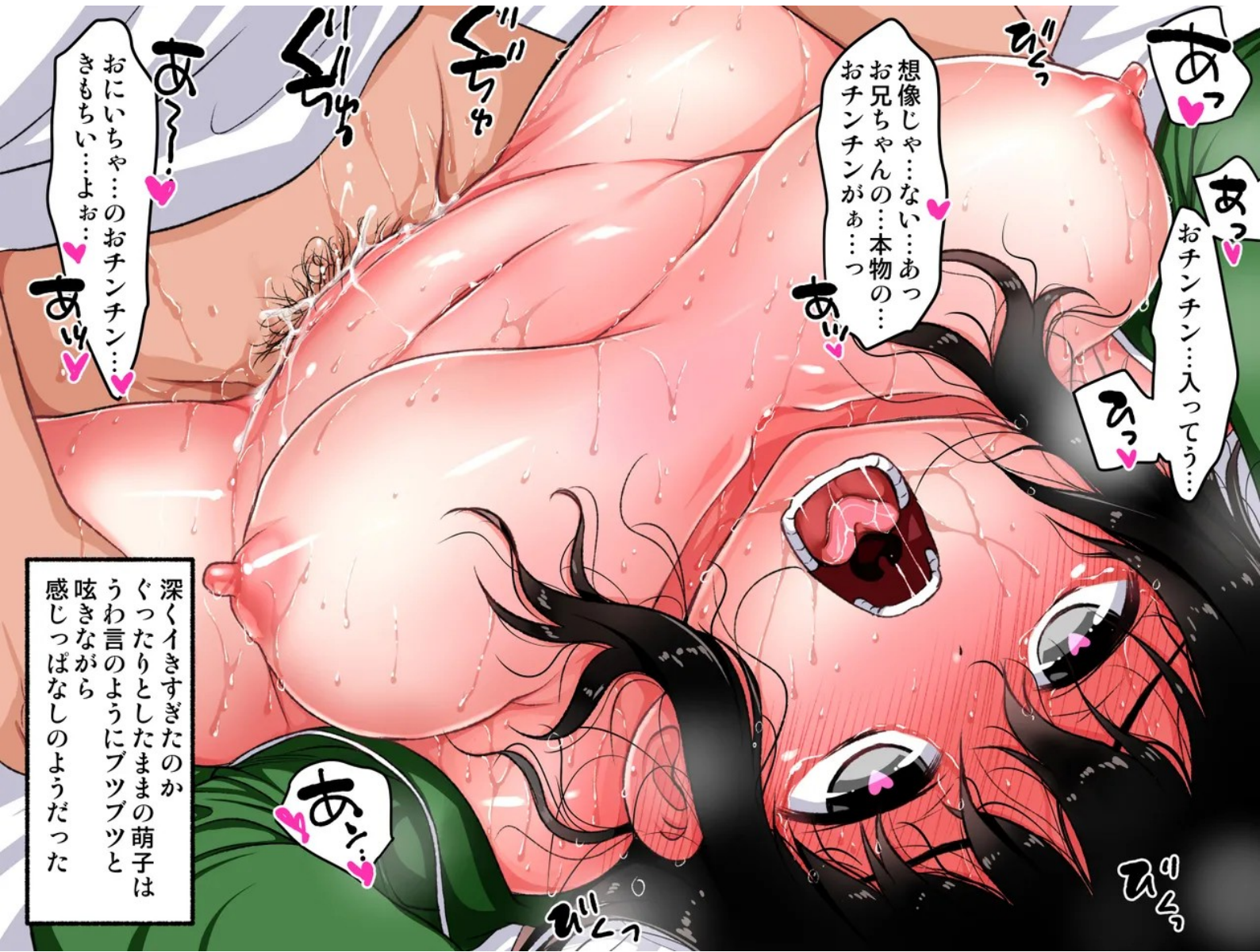
あーあーあー

あーあーあー

きたあああああつ

入れた瞬間  
ものすごい勢いで締め付けられ  
まんこから汁が噴き出した

入れただけで  
萌子はイった



想像じゃ…ない…あつ  
お兄ちゃんの…本物の…  
おチンチンがあ…っ

あっ  
おチンチン…入ってう…

あ…  
おにいちゃ…のおチンチン…  
きもちい…よお…

深くいきすぎたのか  
ぐったりとしたままの萌子は  
うわ言のようにブツブツと  
眩きながら  
感じっぱなしのようだった

あ…

あ…

あ…

俺もたまらず萌子で抜こうと腰を動かす

おチンチンが…♡  
擦ってる…わたしの…♡

あ♡

ひゅ♡

あ♡

ひゅ♡

わたしのおまんこ  
お兄ちゃんのおチンチンで  
こすられてる…♡

あ♡

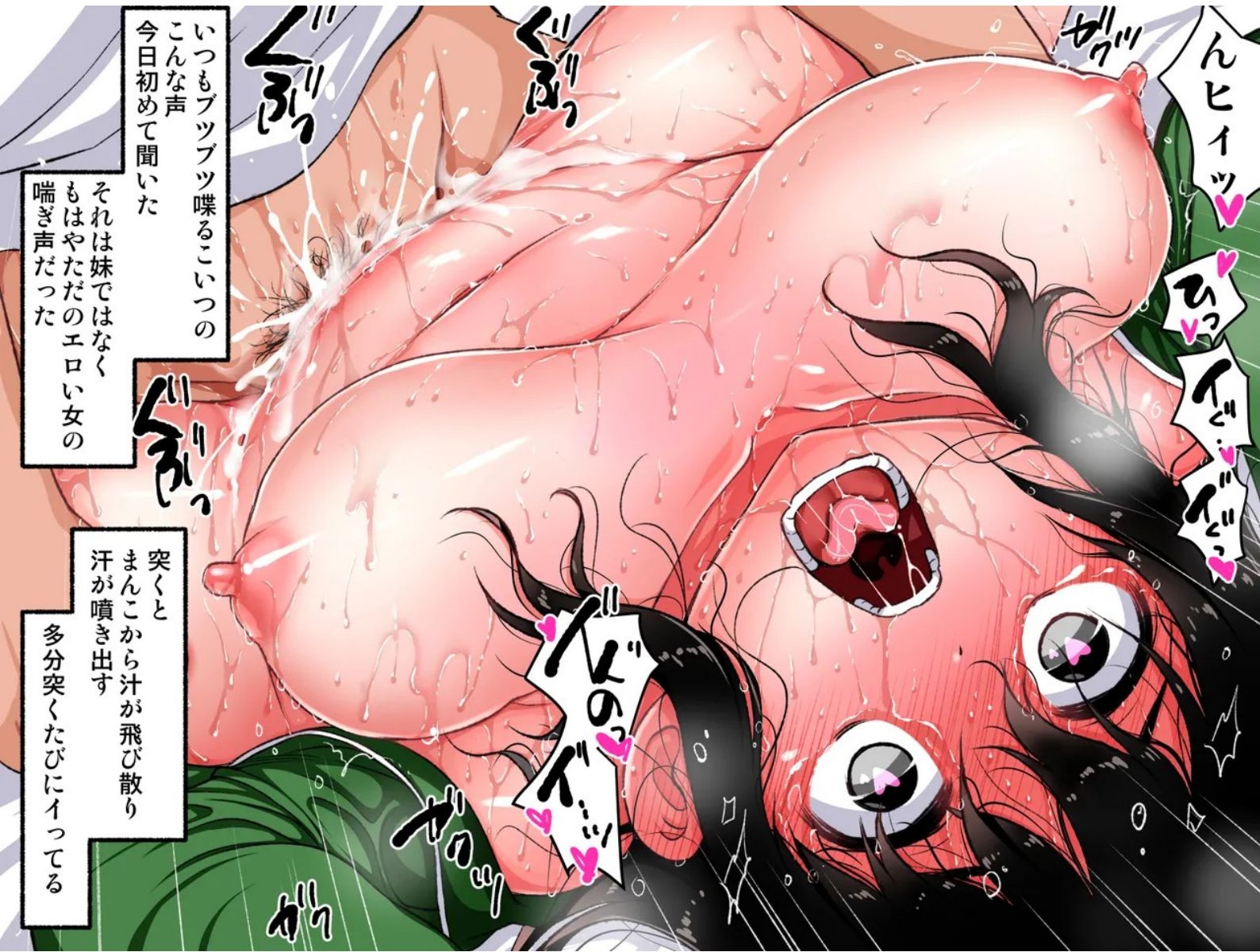
お兄ちゃん  
お兄ちゃん  
お兄ちゃんのでえ…♡

あ♡

ひゅ♡

ひゅ♡





んヒイツ♡

ひっ♡  
いっ♡  
いっ♡  
いっ♡

いつもブツブツ喋るこいつの  
こんな声  
今日初めて聞いた

それは妹ではなく  
もはやただのエロい女の  
喘ぎ声だった

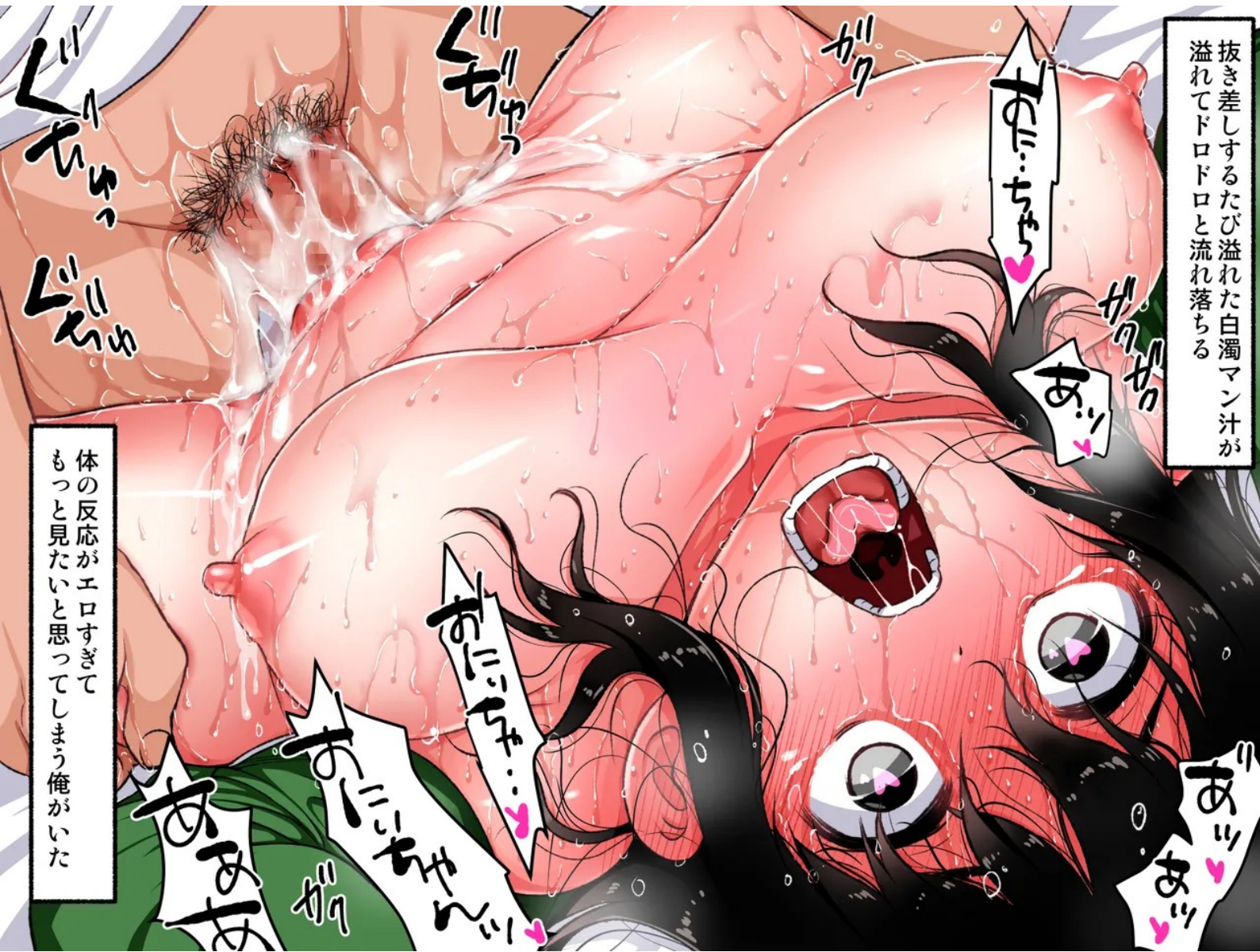
いっ♡  
いっ♡

突くと  
まんこから汁が飛び散り  
汗が噴き出す  
多分突くたびにイってる

ガッ♡  
ガッ♡

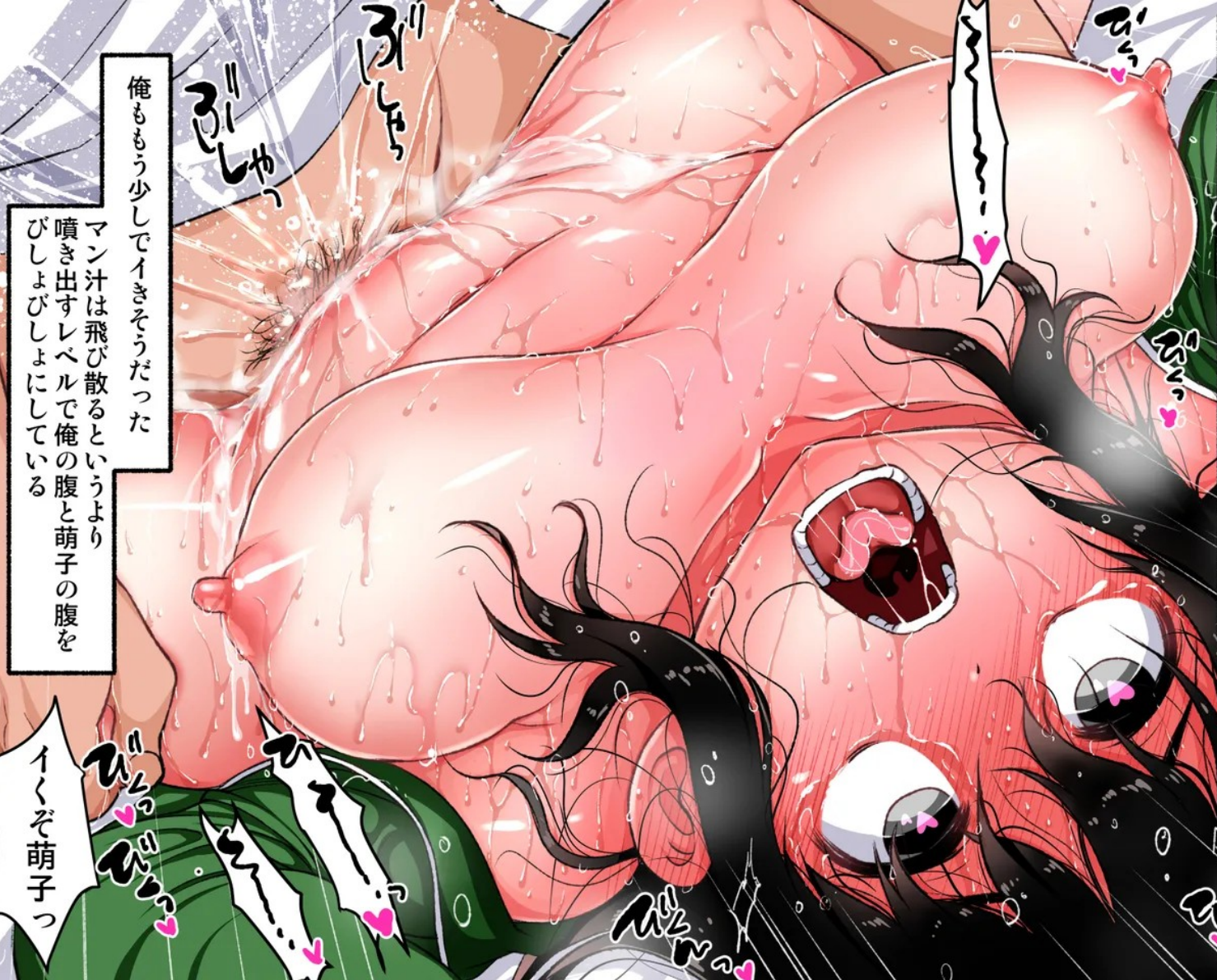
ガッ♡

抜き差しするたび溢れた白濁マン汁が溢れてドロドロと流れ落ちる



体の反応がエロすぎてもっと見たいと思ってしまう俺がいた

萌子はもう限界なのか声もあげずに痙攣している



俺ももう少しでいきそうだった

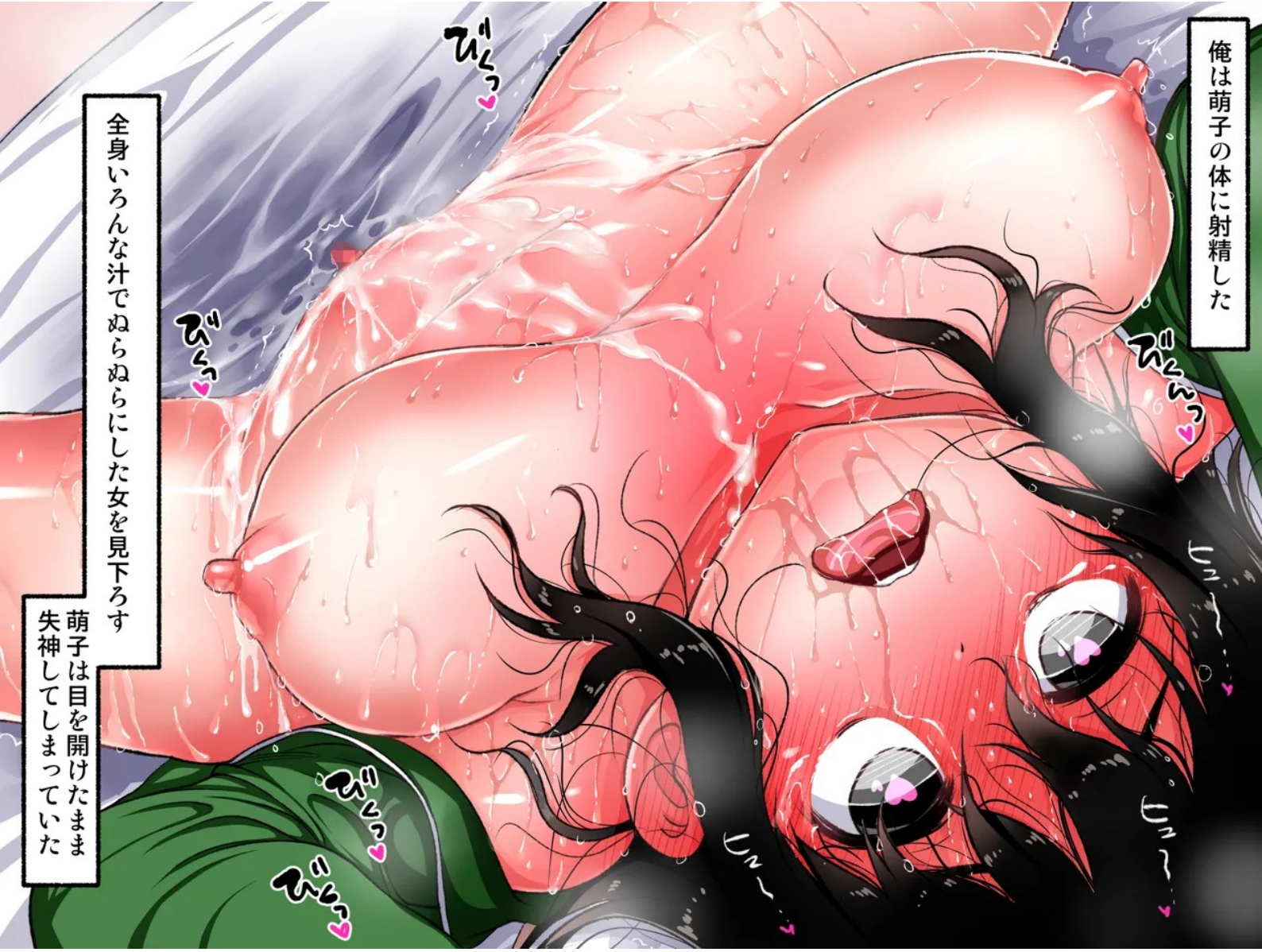
マン汁は飛び散るといふより  
噴き出すレベルで俺の腹と萌子の腹を  
びしょびしょにしている

いくぞ萌子っ

俺は萌子の体に射精した

全身いろんな汁でぬらぬらにした女を見下ろす

萌子は目を開けたまま失神してしまっていた

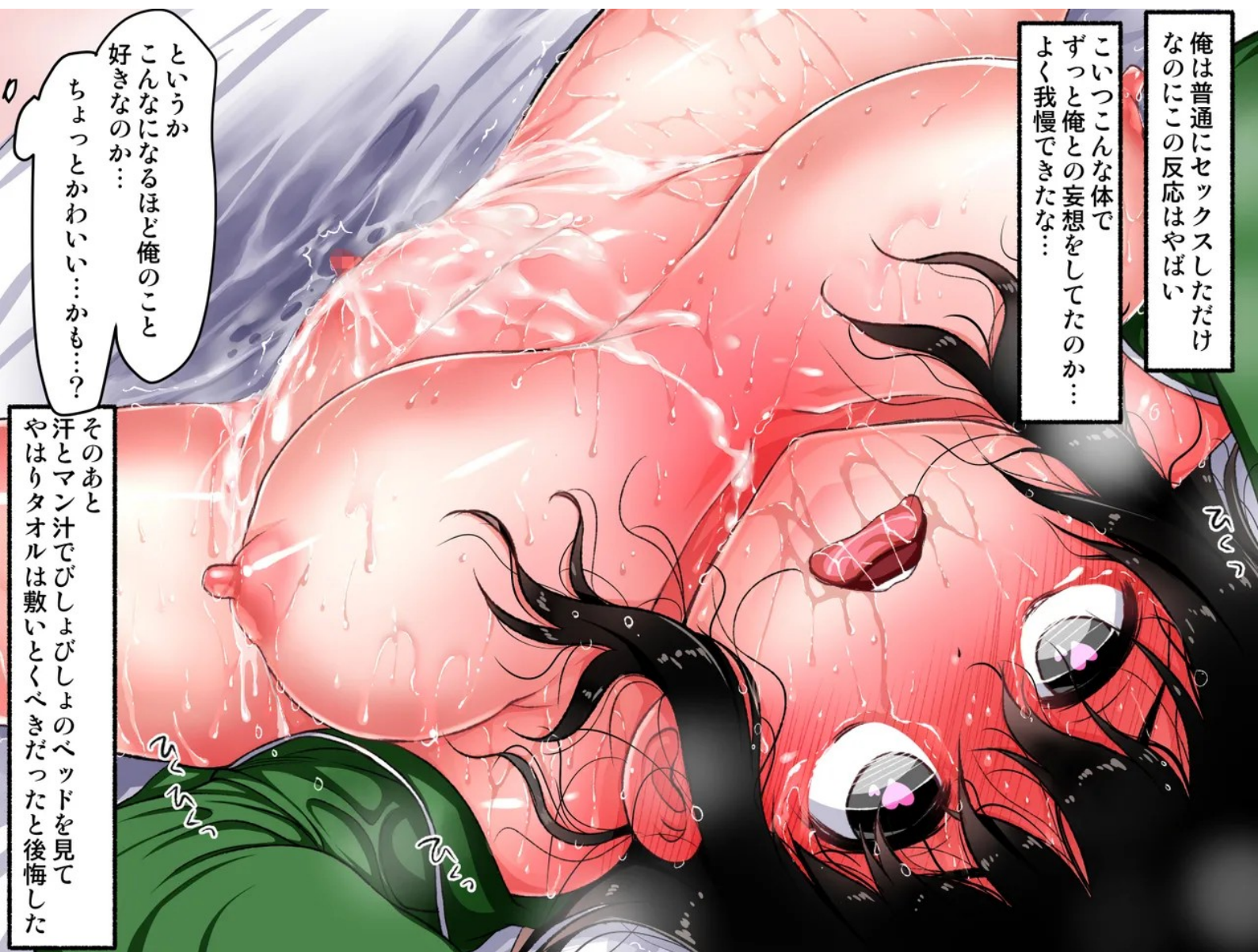


俺は普通にセックスしただけなのにこの反応はやばい

こいつこんな体でずっと俺との妄想をしてたのか...よく我慢できたな...

というかこんなになるほど俺のこと好きなのか...  
ちよっとかわいい...かも...?

そのあと汗とマン汁でびしょびしょのベッドを見てやはりタオルは敷いとくべきだったと後悔した





お兄ちゃん…

お兄ちゃん…

すき…

エッチしたい…

びびり

びびり

アイアイアイ…

グハハハハ  
グハハハハ

お兄ちゃんとのエッチ…  
死ぬほどきもちよかった…

お兄ちゃんに触られて…

お…おちんちん…  
入れられて…

いっぱいイって…  
すぎかった…  
また触って欲しい…



次の日の夜中  
隣の妹の部屋から  
なにかの振動する音と  
小さな声が聞こえてきた

アイ

あつ

あつ





好きに使っていいぞ

あ  
電マもちゃんと使えよ?

わ...わたしっ  
お...お兄ちゃんの  
おチンチン入れながら  
オナニー...してるう...

おチンチンで  
オナニーしてるの  
見られてる...

うっ  
うっ

ひっ  
ガクガク

どうしよう...  
恥ずかしい...死にそう...  
でも...さもちい...

気持ちいいのか?  
凄い汁出てるぞ萌子

気持ちいいいいいい



お兄ちゃんのおチンチンも可愛い...

お兄ちゃんのおチンチンも可愛い...

お前いつもそれでオナニーしてんの？

う...うん...

俺とセックスする事考えながら？

そ...そう...っ

俺のチンコ気持ちいい？

気持ち...いいっ

質問すると  
どんだん汁が溢れて  
俺の腹はびしょびしょにされる

ブイイイイ  
ブイイイイ

ぶいっ

ぶいっ

カクカク

カクカク





あつあつ  
もうだめええええ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

凄え汗…  
そんな気持ちいいのか？  
俺のチンコ好きか？

あつ…  
好き…好き…  
好き…好き…

も…ダメ…行く…  
行く…行く…

あつ…  
好き…好き…  
好き…好き…

あつ…  
好き…好き…  
好き…好き…



萌子は電マを強くクリに押し当て  
息を詰めた

まんことチンコの隙間から  
白いマン汁がぶちゅつと  
溢れ締め付けてくる

萌子がイってる  
やっぱりこいつのイキ方  
エロいな

押し当てているせいかな  
電マの振動が俺のチンコにも伝わって  
なかなかやばい

うううううううう

ひゅひゅひゅ

ひゅひゅ

ふんふん

ドゴ

ひゅひゅ

ひゅひゅ

グ

グ

グ

グ

グ

グ

グ



電マはそのまま当てとけよ

そう言いながらも  
電マを強く押し当てる

でも…っ  
イっ  
イってるの…  
ずっとお…っ

あ…っ

いっ…っ

無意識にだろっが  
萌子は快感を貪欲に  
求めていく

俺の妹がど淫乱すぎる…

あ…っ  
あ…っ  
あ…っ  
あ…っ

あ…っ  
あ…っ



あッ  
乳首……らめ……  
乳首いじつちや……  
あつ……あんんつ

なんで？  
気持ちいいんだろ？

こ……も……

ひやあつ  
指……ダメ……ダメ……  
いじらないれえ……っ

きもちいい  
気持ちよすぎるよお……  
むりい……

俺がチンコでギチギチのまんこに  
指をネジ入れていじくりまわすと  
萌子はまた電マを強く押し当てて  
イこうとする  
おいおいそんな強く押し当てたら  
俺もやばいって





あっ…!!

お兄ちゃんが…  
わたしの中で…射精してる…

どどどどど

どどどどど

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

あ

おにいちゃ…  
あ…おにいちゃ…

ビクンビクンって…  
出てるのわかるよお…

あ

気持ちよくて中に出してしまったが  
ほんとに大丈夫なのか…?

それから隙あらば  
俺は萌子にエロい事をし続けた

俺が何をしても嫌がらず  
嬉しそうにしている萌子が  
だんだん可愛く思えてきたのも  
あるが：  
何より体がエロすぎて  
もっといじり倒したくてしょうがない

その日も  
両親がいるダイニングのすぐそばで  
萌子のまんこをいじってやった





パパとママがそこにいるのに...  
お兄ちゃんに手マンされてる...

声出すなよ?  
母さんたちにバレるぞ

くちゅっ  
くちゅっ  
くちゅっ

くちゅっ

俺とおまえがエロい事してるって

お父さんお茶  
これ佐藤さんに  
いただいたの

新茶ですって

一生懸命声を堪える萌子が  
ちよつとかわいいなんて  
俺もだいぶどうかしてるなと  
思いながらも  
手は止まらない  
いじればいじるほど  
どんどん溢れるマン汁

どんだん溢れちゃう…♡  
妄想したこと…ある…これ…  
ほんとにしてるんだ…♡  
今…♡どうしよう…♡  
気持ちいい…♡

クチュクチュと音がなると  
萌子の全身から汗が滲み出す

萌子とやって気づいたこと  
こいつは興奮したり  
感じたりすると  
凄い汗をかく  
ということは  
この状況に興奮してるとって事だ  
ほんとうにエロいやつ…

何か音しない？

気のせいだろう



しばらくいいじっていると  
びくんと震えて萌子がいった

んん…

ひん

ひん

ひん

ひん  
ひん  
ひん

今萌子の声しなかったか？

あつ…！  
ダメ…声…出しちゃ…  
バレちゃう…

パパとママに  
みつかっちゃう…  
バレちゃう…っ

あの子達まだ寝てるわよ  
夏休みだからって  
夜更かししすぎなの





…おっ  
お兄ちゃんの…なっなっ  
舐めさせて…



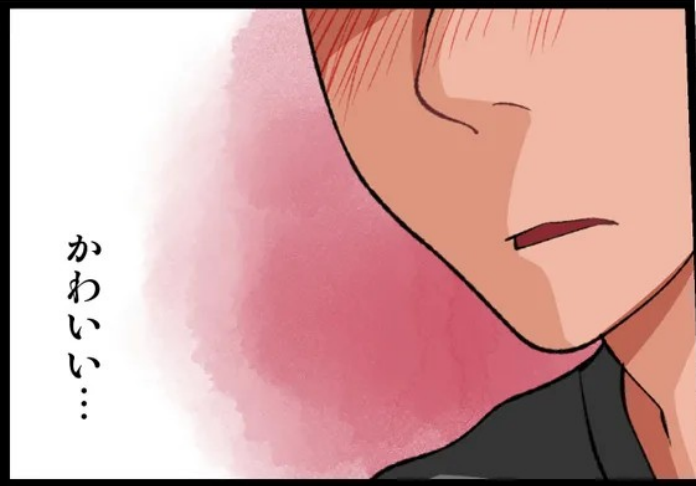
え？

だから…あの…  
わたしの部屋…で…



おにいちゃ…部屋…いきたい…  
あの…  
あの…ね…

な…っ  
舐めたい…の



かわいい…



さっ  
触っちゃった...

熱くて...固くて...  
おっきい...

ドキ  
ドキ  
ドキ



お兄ちゃんの...  
おチンチン...  
どんな味がするの...

ドキ  
ドキ

ひ  
ちゅ...



あ...ちよつとしよつぱら...  
でもおしら...か...

ひ  
ちゅ...



ずっと想像してた...  
お兄ちゃんの...  
おチンチンの味...

ひ  
ちゅ...





これがわたしの中に  
入ったんだ…

お兄ちゃん  
わたしをいっぱい  
気持ちよくしてくれた…

わたしも  
お兄ちゃんを気持ちよく  
したいな…

んっ

んっ

くちゅっ

ちゅる

ちゅる

ちゅる

ば…ばいずりって  
難しい…

こ…こうかな…



先っぽ…舐めたらお汁出てきた…♡

ここ…好き?なのかな…♡

ん…

あ…お兄ちゃん声出してる…♡

かわいい…♡  
もって声出して…

びちゅっ

びちゅっ

くちゅ

くちゅ

ちゅっ…ちゅっ

もって気持ちよくしてあげるから…♡



そうだ

音...もつと大きい音  
出した方がいいのかな

んっ!!!

ぢゅぽ  
ぢゅぽ

ぢゅぽ  
ぢゅぽ

ぢゅぽ

ぢゅぽ  
ぢゅぽ  
ぢゅぽ

う!!!

びい



おいしいよお...  
お兄ちゃんのお汁美味しい♡

お兄ちゃん...  
きもちいいの?

うん  
萌...っ

ちゅっちゅっ

ちゅっ

ちゅっちゅっ



出していいよっ  
お兄ちゃん!♡

ちゅるるっ  
ちゅるるっ

ちゅるるっ

ちゅるるっ

出して♡  
出して♡

萌子...出る...

出る...っ

あっ

ちゅん♡

ちゅん♡





はあはあ...

も...もえ...?

ん...

んん...

んっ

ん...ん...ん...



はあ…っ♡

飲んだのか!?

えへ…♡  
おにいちゃんの  
美味しかった…♡  
ありがとう…♡

ほま♡

ほま♡

ほま♡

なにこいつ…可愛すぎだろ…



わわわたしの

おとおお兄ちゃんがっ

おっおっおっ

おおお……っ

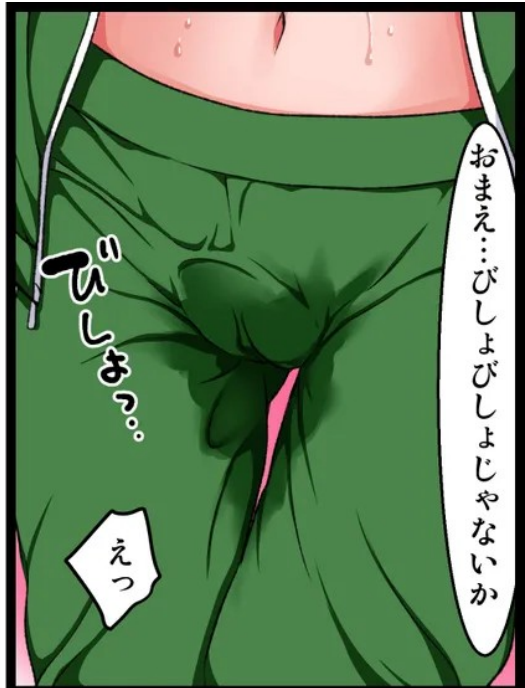


あんだだけエロい事しといて  
まだ恥ずかしいのかよ

そう思うと萌子をもっと  
恥ずかしがらせたくなくて

舐めてやろうか？

なんて口に出してた



おまえ…びしょびしょじゃないか

びしょっ…

えっ



あっ

これは…  
あの…っ



あ

あつあつ  
うそ...うそ...

舐めてる...  
お兄ちゃんが  
わたしのおっぱい  
舐まんこ  
舐めてる...!!

想像でしか  
叶わないって...  
思ったのに...

あ

ほっほんとに舐めてるよお

びゅっ  
びゅっ



すげえ汁  
どんだん出てくるぞ...

いっわないいれえ...

うわ...また溢れた...  
恥ずかしいと  
感じるのか...やっぱエロい...

気持ちいい♡  
気持ちいい♡  
想像よりずっと♡  
ずつと気持ちいい♡  
なにこれ...♡  
すごい...♡

お兄ちゃんの舌気持ちいい♡

舌...入ってる...中  
舐められてるう...っ♡

ちゅ♡  
ちゅ♡

びちゃ

ちゅ♡



うっうっ

ふっふっ

ふっふっ

ふっふっ

ダメ…

ダメ…ダメ…イキそう…  
イっちやう…  
お兄ちゃんに舐められて…  
お兄ちゃんの顔の上で  
イっちやう…

ダメえ…

そんなの…恥ずかしすぎて…

しんじやう…

お…汁が濃厚な味に変わった…  
本気汁か…?

ふっふっ

ふっふっ  
ふっふっ  
ふっふっ



汁やべえ：  
もう汗だか汁だかなんだかわかんねえ：  
量が多くて溺れそう：

萌子の全身が小刻みに痙攣し始めた  
同時に舌が締め付けられる

そろそろいくか？

むりい...♡

ムリ...♡

も...♡

あ...♡  
あ...♡

ちゅるる  
ちゅるる

ぢゅるる

かっ  
かっ



うわっ潮噴いた!

ガッガッ

ビッ

ビッ

びっ

ビッ

んっ

ズッ

ダメええ...っ

萌子は俺の顔の上で盛大にイった  
大量の潮やらマン汁でびしょびしょだ：

見上げると  
滝のような汗を流して  
痙攣している萌子の  
赤く染まったエロい身体

俺はまたポツキしたチンコを  
どうしようかと考えていた

ドロオオオ



その日

ほとんど外に出ない萌子が  
顔を赤くして  
「お兄ちゃんとデートがしたい」  
と言うもんだから  
出かけることにした

へ…変じゃない？

もじ

もじ

髪は相変わらずボサボサだったが  
少しは整えてある  
服装は…それサイズ合ってるのか？  
と言いたくなる格好だが…

大丈夫じゃないか？

あえてそう答えた

あ…あのね…  
ぱ…ぱんつ…  
履いてないの…

え？

おいおい…  
大丈夫じゃないぞ？

エッチなデートが  
したいってことか？

……うん…

兄として少しばかり  
エロすぎる妹が  
心配になるが…

俺も少し興奮していた



ずっとしてみたかった  
お兄ちゃんとエッチなデート…

ほんとにできると  
思わなかった…  
ドキドキする…  
ゆめみたい…

アッヤ…

どうしよう…ぬるぬる  
お汁がたれちやってる…

バレないかな…



萌子がその気なら  
俺も遠慮はしないことにした

電車の中  
ドア付近の隅を陣取り  
萌子の胸を揉みしだき  
まんこをいじる

カ「タ」「キ」「ン」

ドキ  
ドキ

ふー  
ふー

でっ電車でお兄ちゃんとおエッチなことしてる…

おっばい…  
見えちゃう…っ  
ど…どうしよう  
恥ずかしいよお…

くちゅ

しゅん

そこはもうびしょびしょで萌子がどれだけ期待していたのかわかる

…  
…

くちゅ

くちゅ

くちゅ

流石に声を出さないように  
耐えているが  
嫌がるそぶりは見せない萌子

どこまで  
我慢できるだろう

恥ずかしいのに  
感じちやう..  
おにいちゃんに  
触られて..  
気持ち良くなつちやう  
あ..だめ..  
そこだめ..  
おにいちゃ..



周りは男だらけで知らんふりをしてるが多分気づいてる

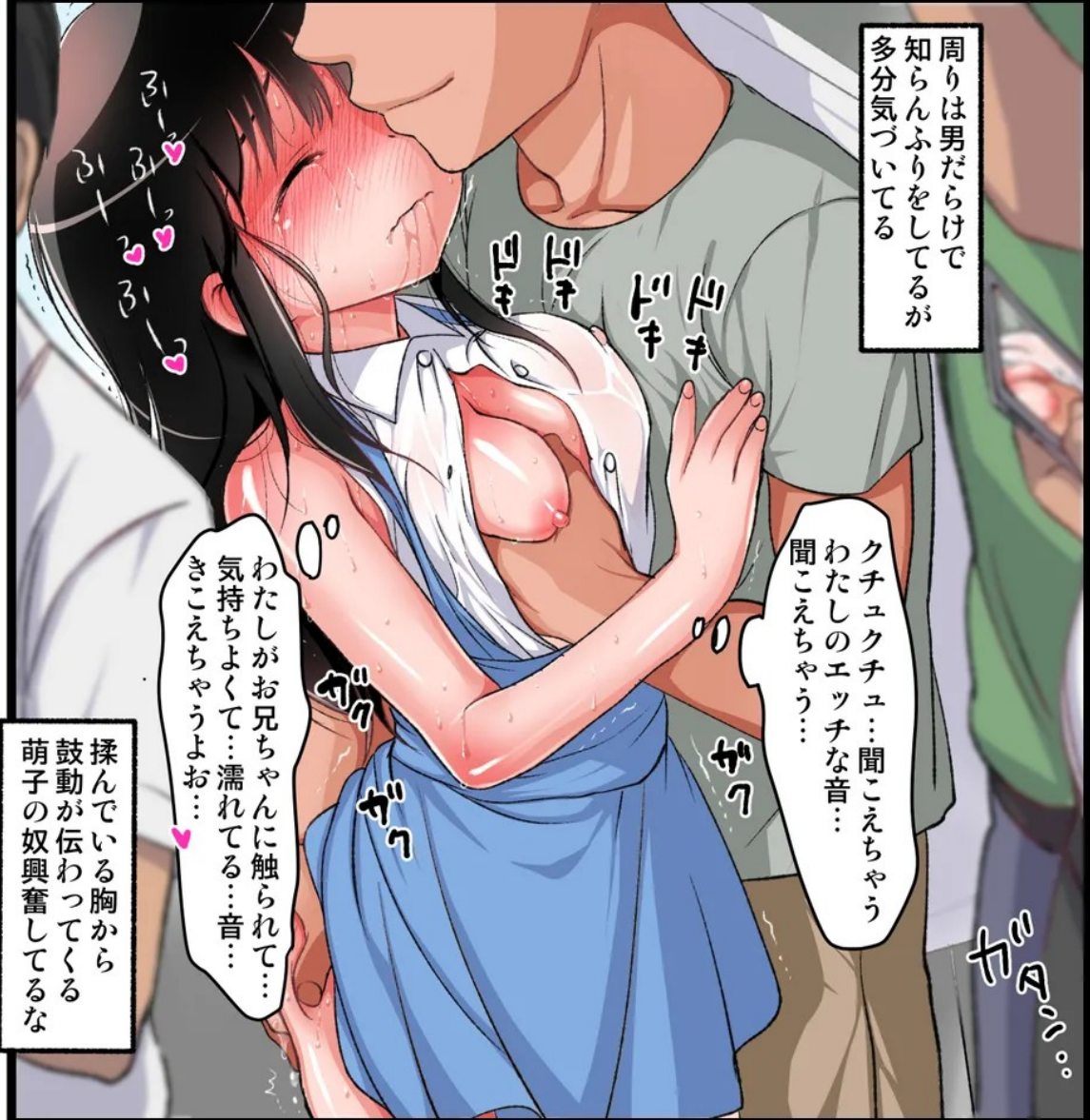
クチュクチュ…聞こえちやうわたしのエツチな音…聞こえちやう…

わたしがお兄ちゃんに触られて…気持ちよくて…濡れてる…音…きこえちやうよお…

揉んでいる胸から鼓動が伝わってくる萌子の奴興奮してるな

この濡れっぷりからもわかるけど…

し…心臓破裂しそう…おにいちゃん…たすけてえ…



カ…タ…



萌子は小さくなんどもイキ続けた

その後駅に着くまで



ビクッと萌子が震えた

いったな...

まんこから  
大量の汁が出てきた

ぐちゅぐちゅとわざと音を立ててやる

明らかに周りの男どもの  
様子がおかしい  
このエロい女は俺のだぞ  
羨ましいか

優越感と...これは独占欲?

俺は萌子を誰にも  
渡したくないなんて  
思ってる

ガクン  
ガクン

駅に着くなり  
萌子が入れて欲しいと言い出して  
男子トイレへ直行した

ひんっ

ほら萌子っ  
おまえが欲しがってる  
チンコだっ

アッ

あー

おにいちゃあ...

幸い誰もいなくてそのまま個室へと入り  
ぐちゃぐちゃに濡れた萌子のまんこに  
勃起したチンコを突っ込む

その瞬間萌子はイった





はっ♡  
おっおまんこ…  
きもちいい…♡

俺も…っ  
萌子のまんこ  
きもちいい…っ

はっ♡

カク

カク

おまんこ♡  
おまんこ♡

おまんこ…♡  
おまんこ…♡

おまんこ…♡  
おまんこ…♡

カク

おに…ひゃ…のおっ♡

あっ♡

ンア♡



あああんっ  
うれし...

ああん

もっとイけ!  
萌子!

ひびく

ひびく

ひびく...

ん...



あッ  
おにいひやんの  
おチンチン  
さもちい...っ

あッ  
おにいひや...好き...  
おにいひやんすき...っ

あッ  
おまんこさもちい...

あッ  
あッ

あッ  
もつと...  
もつと突い...

あッ  
いくぞ萌子!  
いくぞっ!!

あッ  
中...中...っ

ガッ ガッ

ガッ

ガッ

あッ



萌子……っ！

い……っ♡

いっ♡

いっ♡

いっ♡

いっ♡

いっ♡

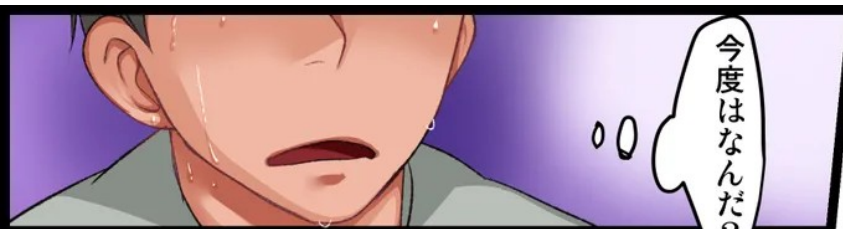
いっ♡

いっ♡

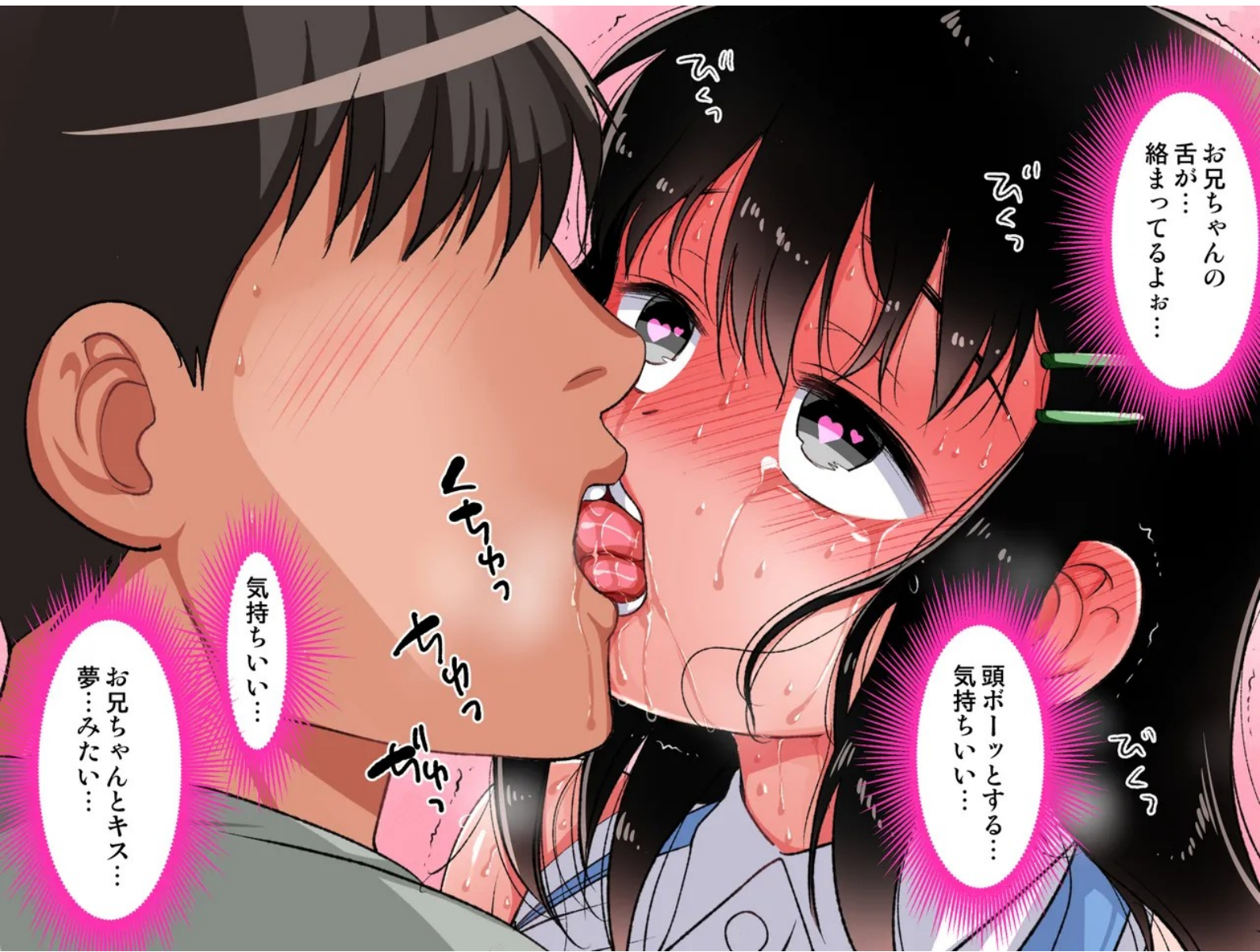
いっ♡

いっ♡

おっ  
お兄ちゃんのが  
中に……っ♡







お兄ちゃんの舌が...絡まってるよお...

頭ポーツとする...気持ちいい...

気持ちいい...

お兄ちゃんとキス...夢...みたい...

くちゅっ  
ちゅっ  
ちゅっ



突然温かいものが下半身を濡らすのを感じ  
見てみるとそれはおしっこで…

じょろろおしっこ

がががが

がが

がが

萌子はキスだけで漏らしながら絶頂していた





あゝ♡

あゝ♡

あゝ♡

あゝ♡

あゝ♡

あゝ♡  
おにいちゃん...♡  
きゅんきゅん♡

あゝ♡  
こすって...中...♡  
ぐちゃぐちゃ...つて♡

キスでいった萌子はその後も  
ずっとイキっぱなしで  
ひっきりなしに声を上げていた  
何度か人の気配を感じたが  
それにも気付かず  
いきまくる

ぐちゃぐちゃ

ぐちゃぐちゃ

ぐちゃぐちゃ



おまえのまんこ  
きもちいいっ

うっ

↑  
:

びくっ  
びくっ  
うっ...  
ひぐっ

ひくっ

お兄ちゃん  
お兄ちゃん  
お兄ちゃん

ああ...萌子...っ  
きもちいい

くっ  
びくっ

ひくっ

くっ  
びくっ

萌子の膣内はぐちゃぐちゃで  
細かな突起がチンコに絡みつく



うれしくて...  
イクのとまんない...  
とまんない...ツ

タメ...っ  
またイグう...っ

ぐちゅ  
ぐちゅ

ぐちゅ  
ぐちゅ

ぐちゅ  
ぐちゅ

お兄ちゃんが  
わたしで感じてくれてる...  
うれしいっ

びしょ  
びしょ

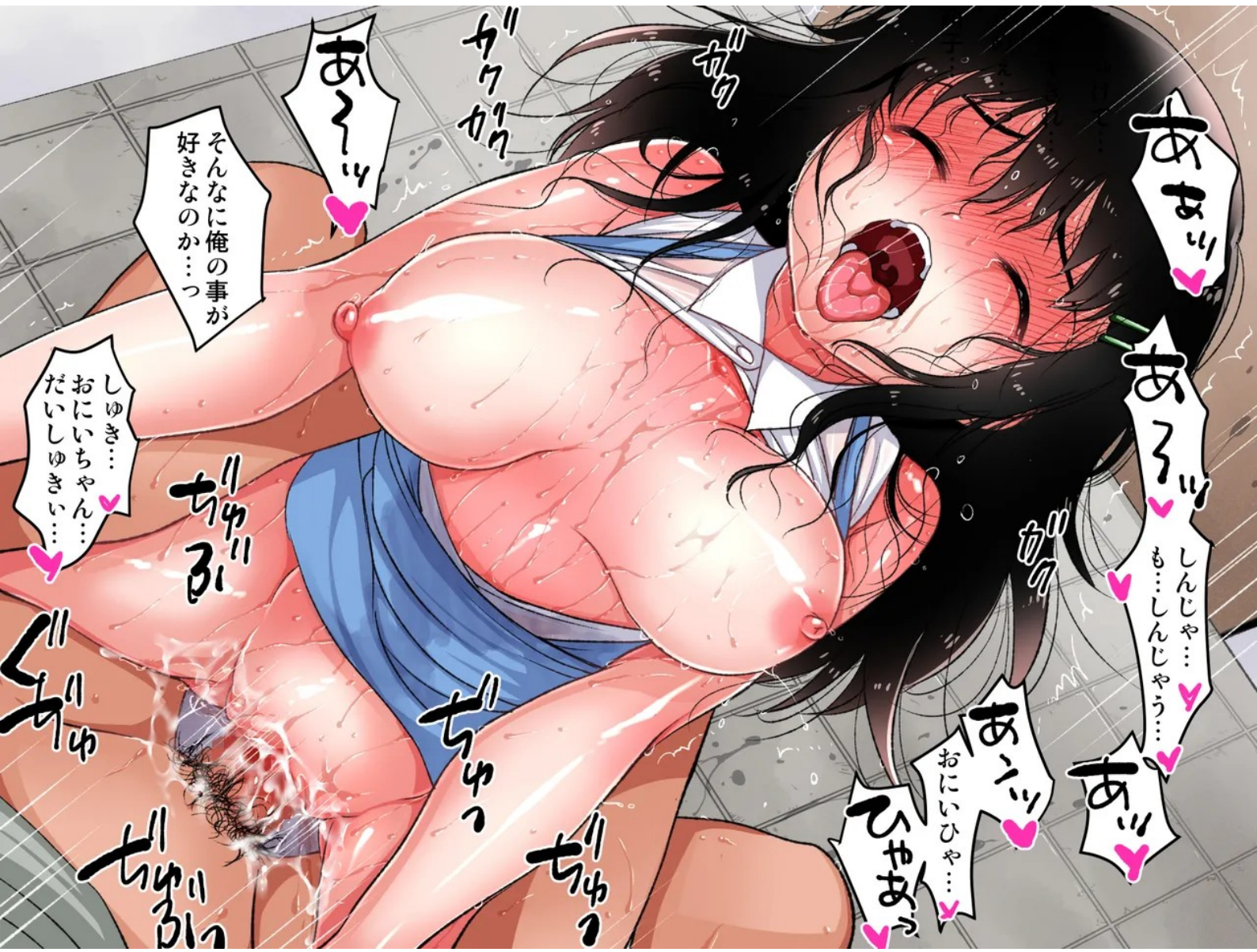
びしょ

びしょ

びしょ

びしょ





あーっ♡

あーっ♡

しんじや...  
も...しんじやう...

あーっ♡

あーっ♡

あーっ♡

あーっ♡

あーっ♡

そんなに俺の事が  
好きなのか...っ

しゅぎ...  
おにいちゃん...  
だいしゅぎい...

あーっ♡

あーっ♡

あーっ♡

あーっ♡

あーっ♡



え...っ♡

あっ♡

あぁっ♡  
あぁっ♡  
あぁっ♡

かわいい萌子...っ  
萌子...っ

か...かわいい?  
わたし...かわいい?

このとき俺は妹である萌子を  
本気で愛おしいと思いはじめていた

イキすぎてぐったりする萌子を連れ  
駅の近くにホテルに飛び込み  
俺は萌子を抱きまくった

何度も中で射精して  
萌子の中は  
精液だかマン汁だかわからない汁で  
ぐちゃぐちゃで

突くたびにそれが中から溢れ飛び散り  
シーツを濡らす

いいっ

あッ

あッ

あッ

でっ

ぽっ  
ちゅ

ぽっ  
ちゅ

びん

ぽっ  
ちゅ

あつ  
おにいちゃ  
好きっ

好きっ

好きっ  
女キ

俺も好きだ!

萌子っ



あああああっ♡♡♡

あ♡♡♡

ほ♡♡♡

イグウウっ!!♡♡♡

し♡♡♡

ぽ♡♡♡

ん♡♡♡

ほ♡♡♡

ぽ♡♡♡

ん♡♡♡

ん♡♡♡

萌子お!!  
俺もイク!!  
イクっ!!!



おまんこ突いて...

奥まれ突いれえ...!  
子宮でイかせれええ!  
おっ...おにいひやんの...っ  
奥イキさせれえええっ!

ヌチャッ

おんこ...おんこ...

おんこ...おんこ...おんこ...おんこ...

あッ

いやあ...おんこ...おんこ...

おんこ...おんこ...

トロトロ

カッ

あッ  
あッ



こうか萌子っ!!  
俺のチンコ  
萌子の奥に当たってるぞ!  
イケ!奥で!イケっ!  
イケ!萌子!イケ!!  
俺のチンコでイケ!!!

おぐっ  
おグウっ

イクッ  
イクッ

ほちゅ

ほちゅ

ほちゅ

ほちゅ

おっおっおぐで...

おぐでイクううううっ!!!

ほちゅ

ほちゅ

びゅ

びゅ

びゅ





最近  
萌子は妄想ではなく  
俺と体験談を  
ブログに書いている



あーん♡  
まって…おにいちゃ…

字が打てない…んっ♡

んっ♡

がっ

がっ

ぐちゃっ

ぐちゃっ

ぐちゃっ

がっ

がっ

読んでる奴らも  
リアルタイム体験談だとは思わないだろうな

そーいやあ  
読者増えたって言ってたっけ？

おまえとエッチしたいとか  
言ってくるやついるんじゃないの？

いる…けど…  
わたし…お兄ちゃんじゃなきゃだ…

ちゅるい  
ちゅるい

じゃあ俺とのはめどり  
撮ってのつけちゃう？

え…っ

かっ

かっ  
かっ

ぐんぐん

かっ

かっ



やっぱやめ

俺が見せたくない

しゅちゅっ  
しゅちゅっ  
しゅちゅっ

びゅっ

びゅっ

びゅっ

びゅっ

びゅっ

あ

おにいちゃん...

あっ

あんっ

あ

あ

おにいちゃん  
それって...  
わたしのこと...  
ほんとに...

あ







ん...?  
またお願いか?

うん...  
あの...ね...  
わたし...

あの...  
ね...

お兄ちゃん...

お兄ちゃん...

ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(B) 印刷(P) 終了(X)  
お兄ちゃんの精液が私のおまんこから  
溢れてるのがわかる。  
あつたいないなあ...  
本当は一滴だってこぼしたくないのに  
お兄ちゃんの精液は量が多くて絶対に溢  
れちゃう...  
でもね...  
今日は子宮を突きながら射精したから  
もじかしたら...?  
早くお兄ちゃんの赤ちゃん  
欲しいなあ...  
おおり





























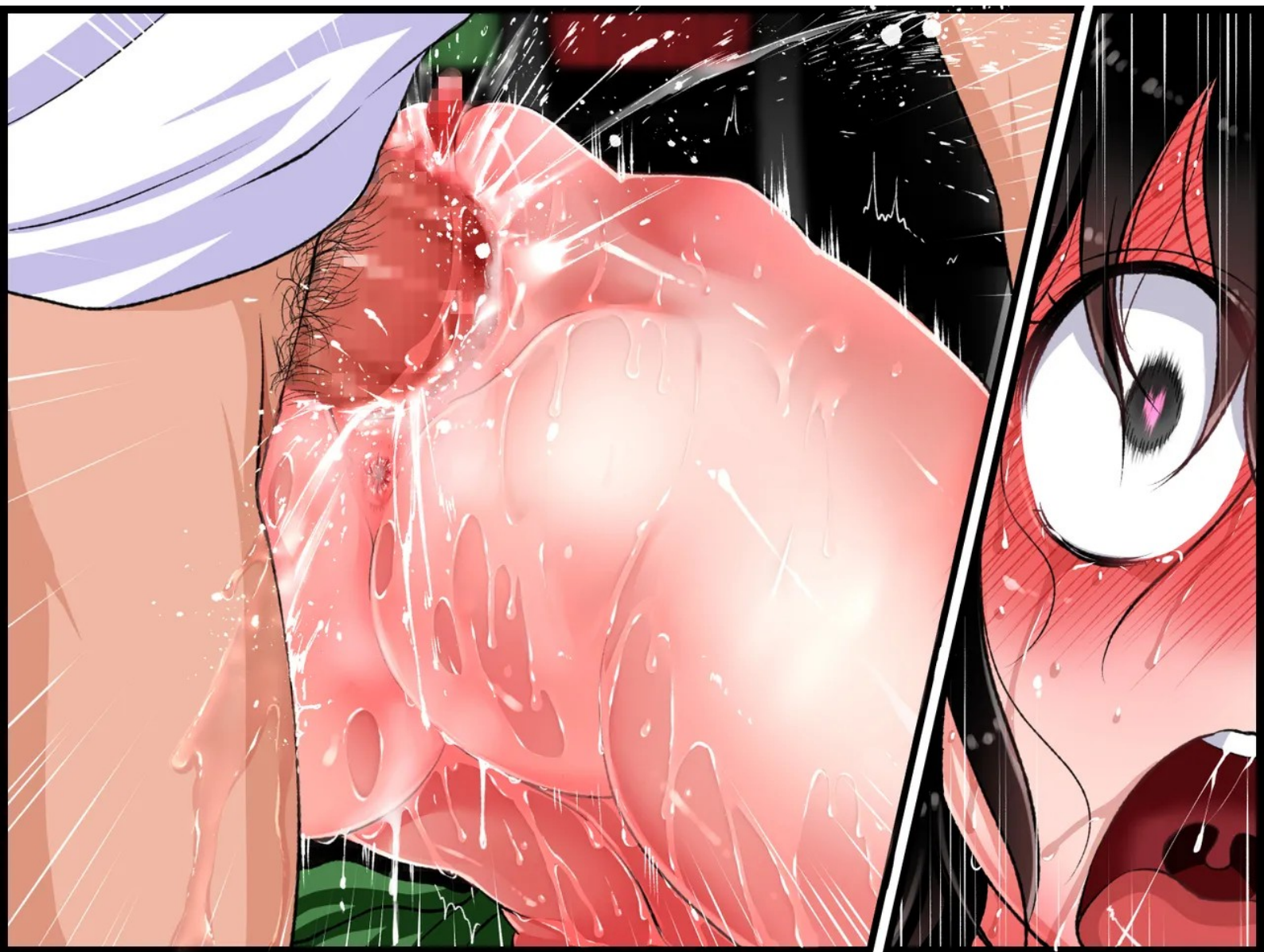






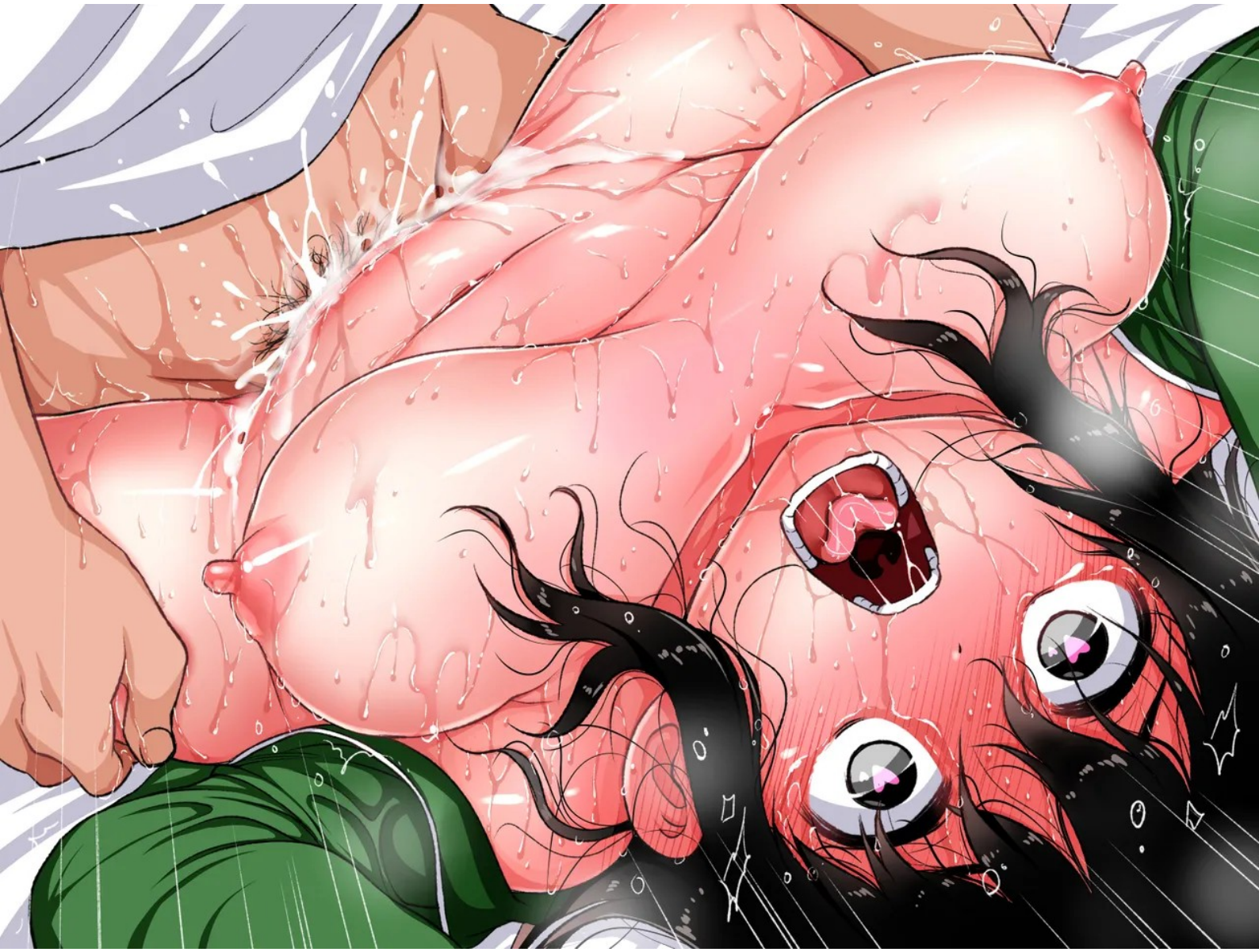




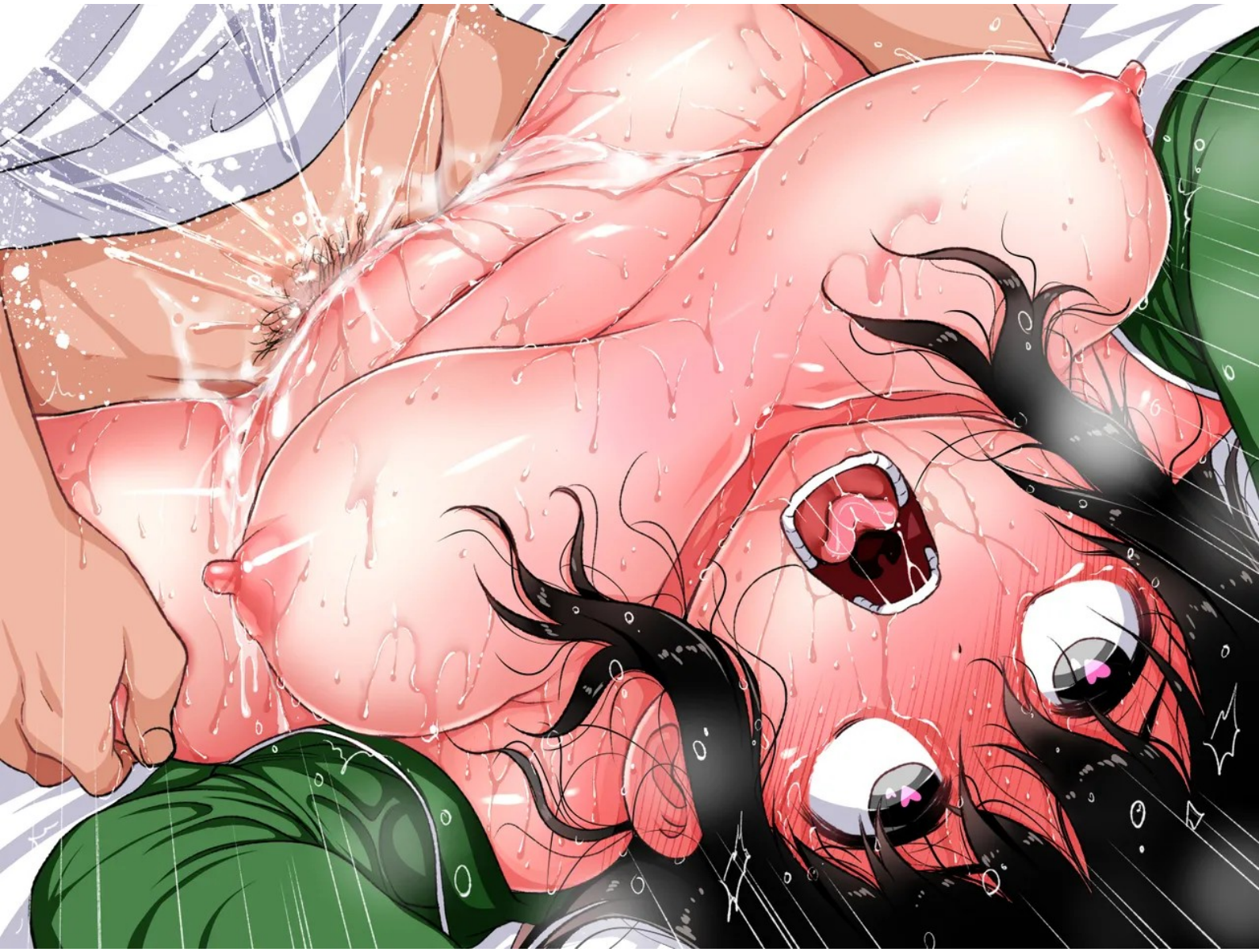


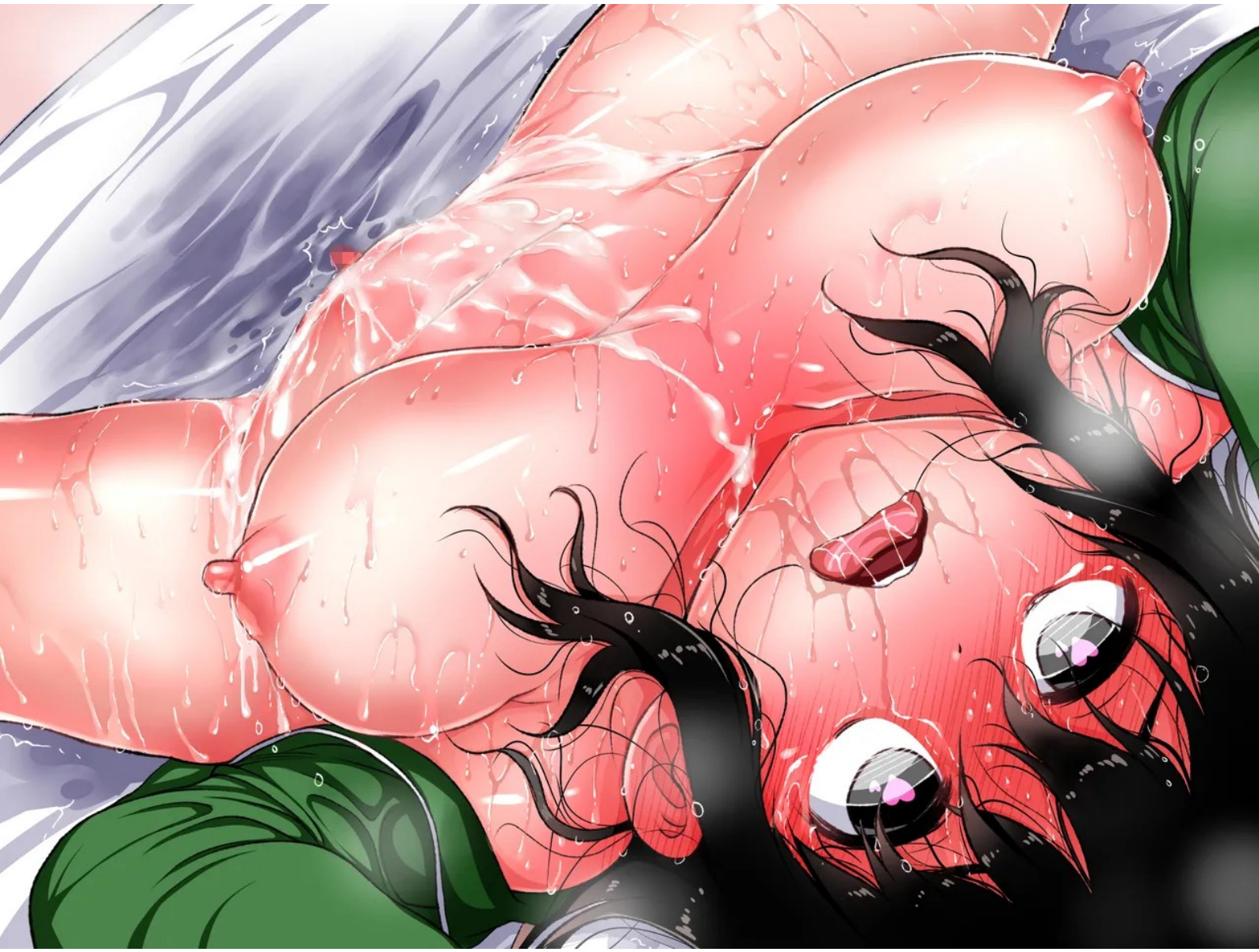




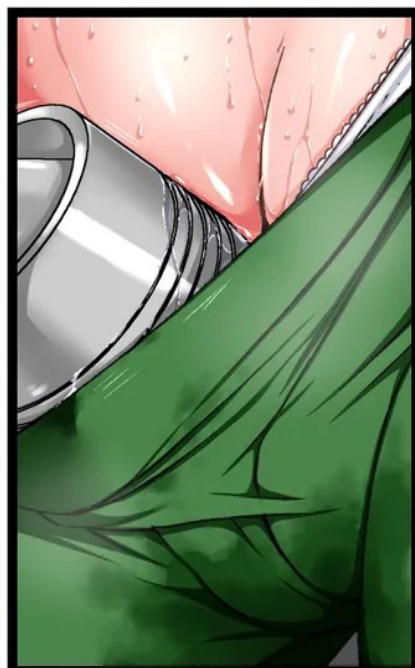
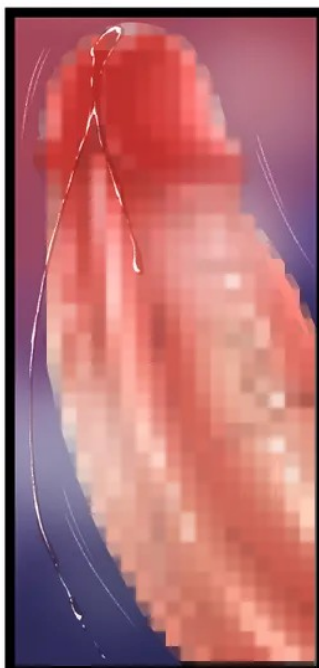


























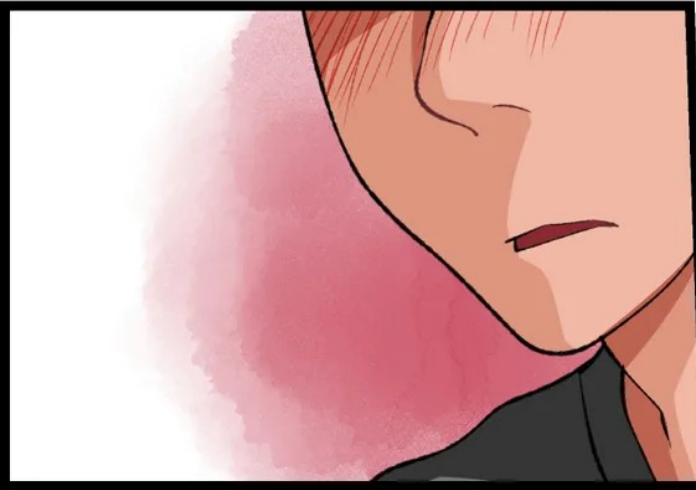
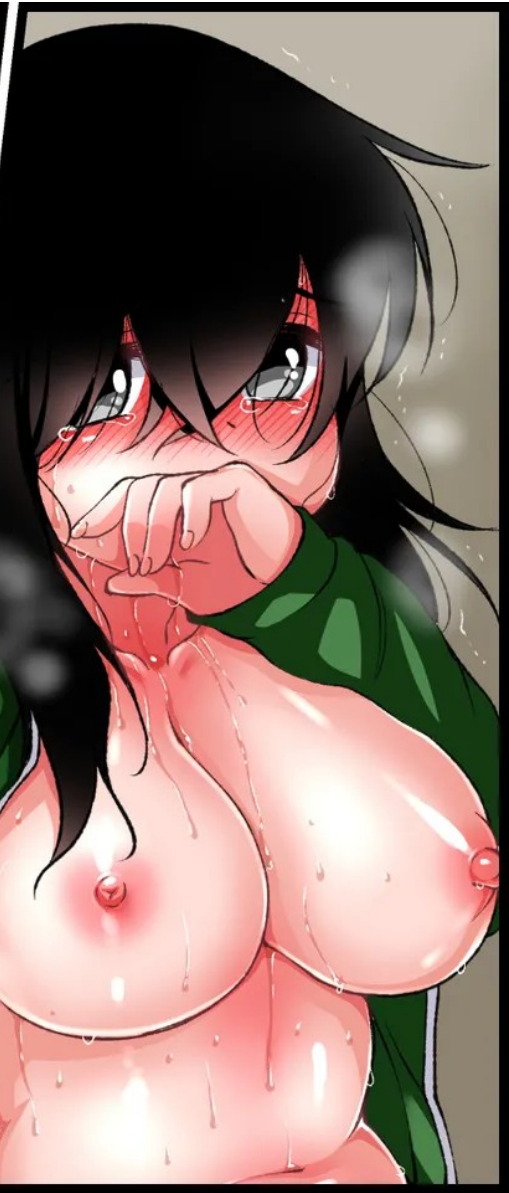




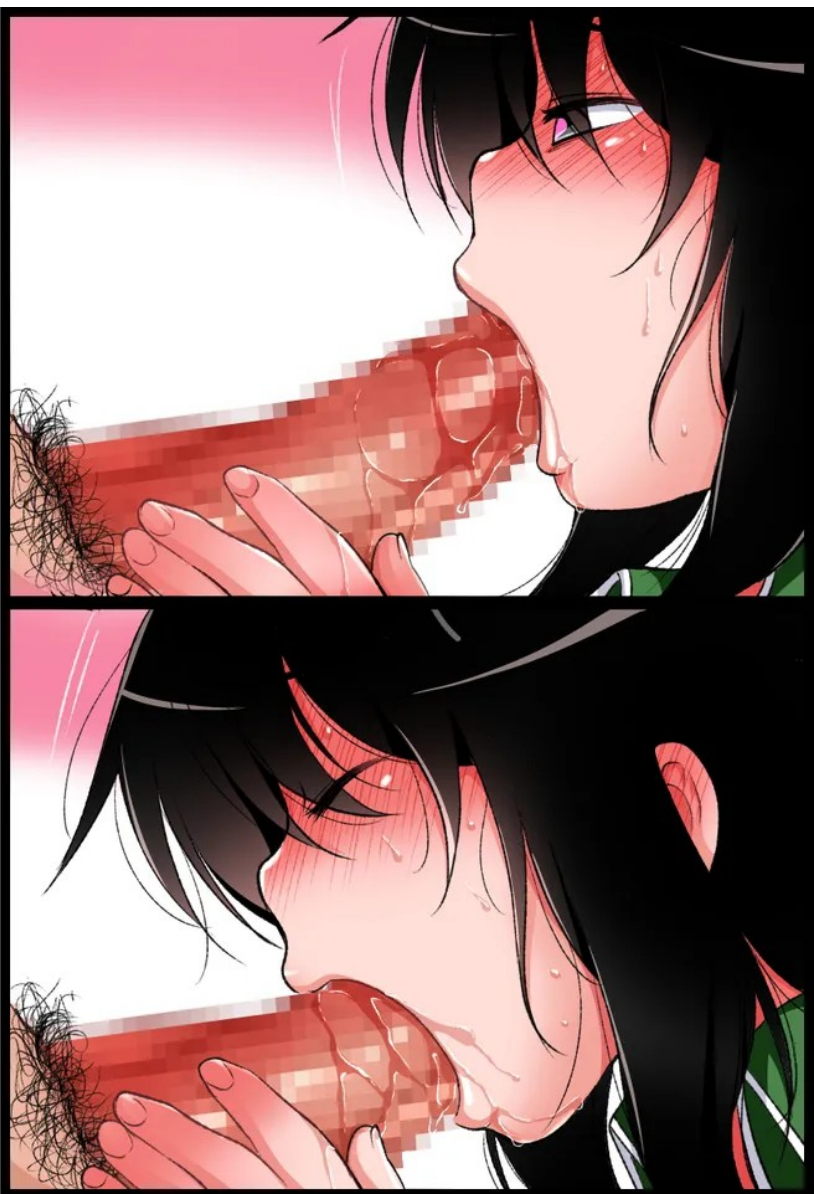






































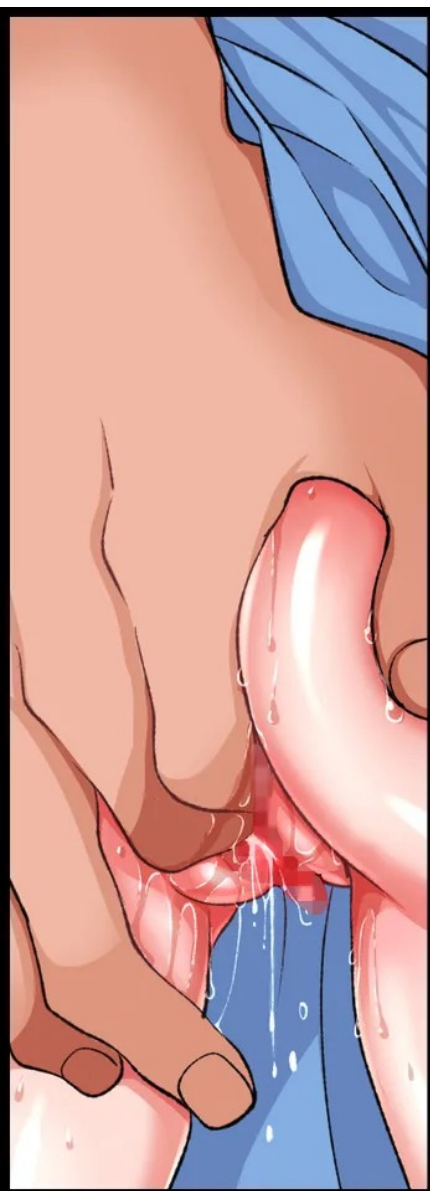


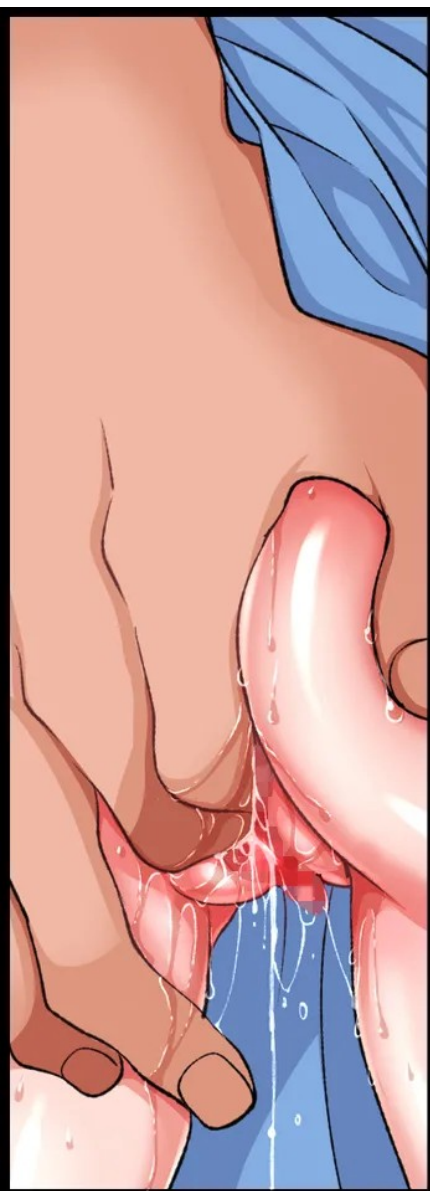


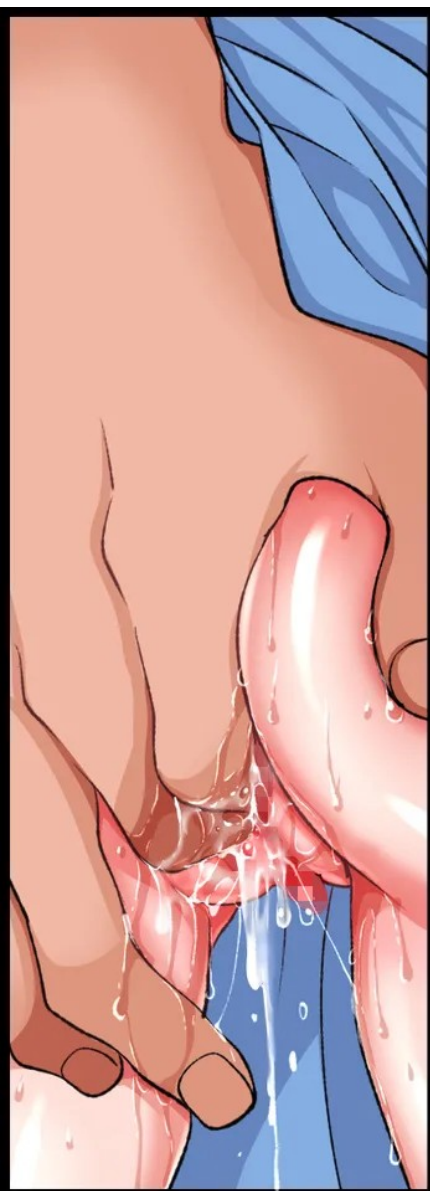














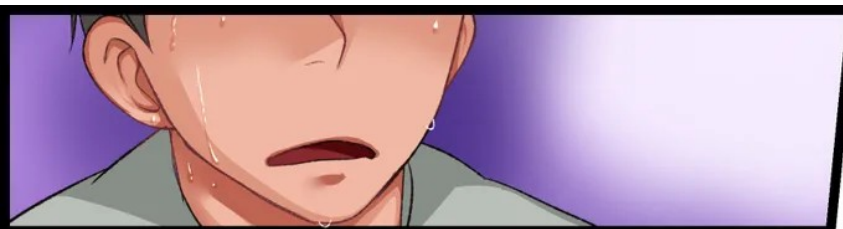


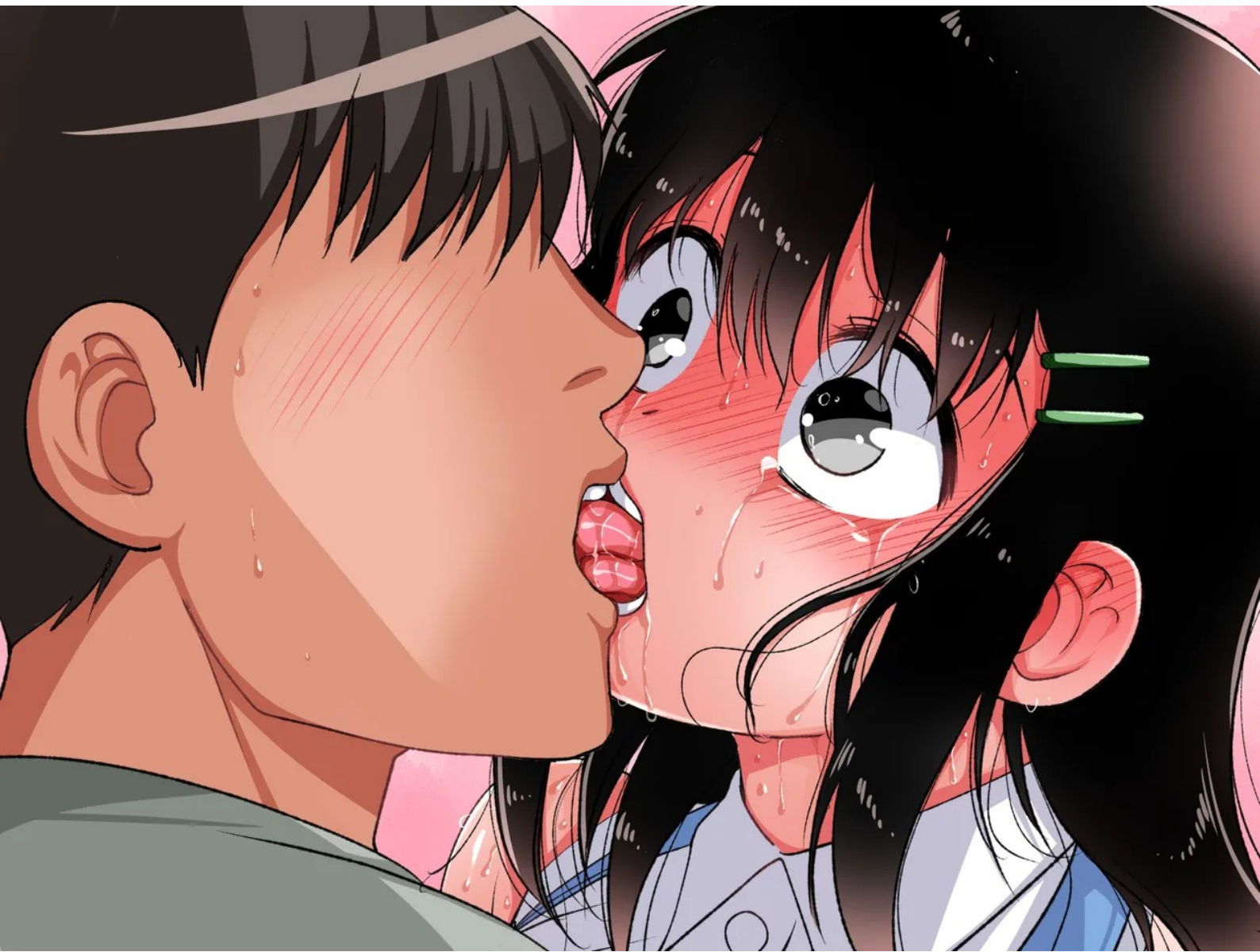






















































ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(B)  
お兄ちゃんの精液が私のおまんこから  
溢れてるのがわかる。  
あつたいないなあ...  
本当は一滴だってこぼしたくないのに  
お兄ちゃんの精液は量が多くて絶対に溢れち  
でもね...  
今日は子宮を突きながら射精したから  
もしかしたら...?  
早くお兄ちゃんの赤ちゃん  
欲しいなあ...  
おおり